3．退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

区　　分	平成26年３月31日現在
割引率	1.2％
退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
過去勤務債務の償却年数	発生事業年度一括費用処理
数理計算上の差異の処理年数	発生事業年度一括費用処理

Ⅶ．固定資産の減損関係

翌事業年度以降の特定の日以後使用しないと決定した固定資産

（単位：円）

用　　途	病院および研究施設			
場　　所	大阪府吹田市			
使用をしなくなる日	平成29年度末予定			
使用をしないという決定を行った経緯・理由	当センターの老朽化により平成30年度の開棟を目指して、吹田操車場跡地に移転することを決定しております。よって、平成29年度末に使用しなくなると見込んでおります。			
種　　類	建　　物	建物附属設備	構　築　物	土　　地
使用をしなくなる日の帳簿価額の見込額	1,404,454,812	642,732,231	14,570,294	6,918,645,555
使用をしなくなる日の回収可能サービス価額（注１）	0	0	0	—
減損額の見込額	1,404,454,812	642,732,231	14,570,294	—

（注１）建物、建物附属設備および構築物…除却を予定しているため、０円としております。
土地…現時点において売却額を見込むことが困難でありますので、記載しておりません。

Ⅷ．資産除去債務関係

１．資産除去債務の概要

当センターは、所有する医療用器械備品の処分時における放射化物の廃棄費用について資産除去債務を計上しております。

２．資産除去債務の算定方法

資産除去債務の見積もりにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数を参考に２～５年と見積もっております。割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う国債の利回りを採用しており、0.256～0.470％となっております。

３．当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	470,479,648円
見積り変更による増加額	0円
時の経過による調整額	1,973,579円
期末残高	472,453,227円

Ⅸ．重要な債務負担行為

当事業年度末までに契約を締結し、翌事業年度以降に支払が発生する重要なものは、以下のとおりです。

（単位：円）

契　約　内　容	契　約　額	翌事業年度以降の支払金額
病院情報管理システム（電子カルテシステム含む）保守契約	508,045,680	294,590,017
建物賃貸借契約（看護師宿舎借上）	1,491,682,064	1,366,200,000
建物賃貸借契約（看護師宿舎借上）	1,080,000,000	918,000,000
医事室等業務委託契約	609,120,000	205,920,000

Ⅹ．重要な後発事象

該当事項はありません。

附　属　明　細　書

開示すべきセグメント情報

（単位：百万円）

	研究事業	臨床研究事業	診療事業	教育研修事業	情報発信事業	計	法人共通	合　計
事業費用								
業務費	2,497	2,399	20,437	1,870	111	27,313	—	27,313
一般管理費	—	—	—	—	—	—	885	885
財務費用	—	—	18	—	—	18	—	18
その他	0	0	4	—	—	5	41	45
事業費用計	2,497	2,399	20,459	1,870	111	27,337	925	28,262